

カビを発生させない環境を

～梅雨時期に一番気を付けなければならないこと…それは「カビとダニ」～

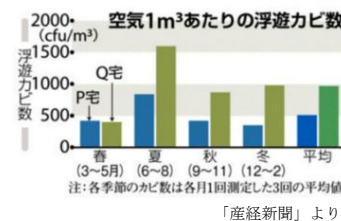
カビは人体に影響があります!!

カビは、ぜんそくやアトピーなどの健康を脅かす原因の1つになっています。また、肝臓がん、腎臓がんなどの悪性腫瘍の原因にもなることがあります。
(インターネットより)

先日「林修の今でしょ! 講座」では、カビが原因でアルツハイマー型認知症になると放送されていました。

カビは湿度 70% ぐらいから盛んに繁殖します。

つまり、室内に結露を発生させないような環境をつくるのが、カビの発生を抑えることにつながるのです。



実はダニがカビを食べている!!

東京都福祉保健局が 2016 年に居住環境調査として、一般家庭の居住環境の現地調査を行った結果。



ヒョウヒダニの生息数が...

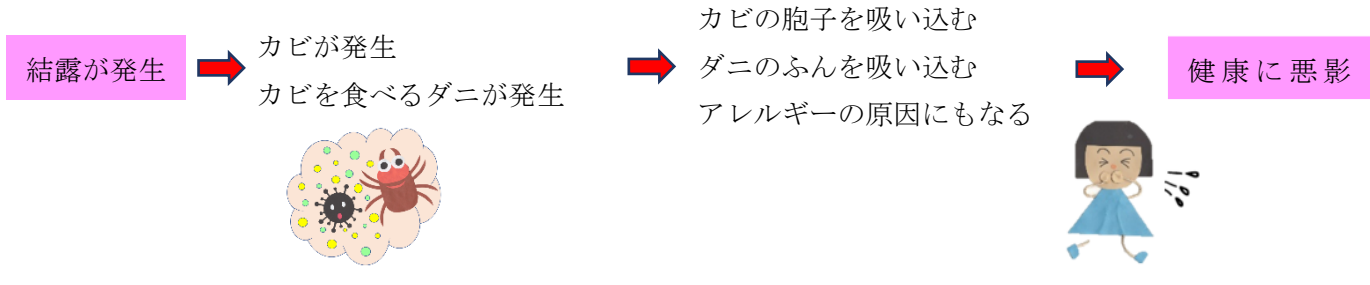
フローリング	6.5 匹/m ²
じゅうたん	34.4 匹/m ²
寝具	35.8 匹/m ²

1 μg = 0.001mg

アレルゲン	
10 μg 以上 ☹️	喘息発作誘発の危険性大
2 μg 以上 ☹️	ダニアレルギー発症の危険性大

ダニ生息数調査の結果では、アレルゲン (アレルギー原因物質) になりやすい。

※世界保健機関 (WHO) によると、室内塵 1g あたり 2 μg、同 10 μg のアレルゲンで私たちの健康に悪い影響を及ぼすと発表。ダニ本体はもとよりダニの死骸やフンもアレルゲンとなり、生息数換算すると 2 μg では約 100 匹、10 μg では約 500 匹。東京都福祉保健局が調査を行った住宅 10 軒中、2 μg を計測した住宅が 9 軒



室内の様々な場所にカビがみられるのは、ダニがカビを食べ、またダニが動き回ることによってカビの胞子を撒き散らし両方が増殖してしまうからです。カビを発生させるのではなく、カビと闘う建物の仕組みについて私たちはもっと知識を身につけたいものです。

ダイアトーマス® を塗った壁は空気を透過します。ビニルクロスのように壁裏にカビが発生することはありません。健康で快適な空気環境をつくるお手伝いを **ダイアトーマス®** で!